

いじめ防止対策推進法に基づく本校の取組について

本資料は、「いじめ防止対策推進法」(以下、法という。)の趣旨を踏まえ、学校がいじめ防止等の取組を保護者の皆様に理解していただくことを目的に作成しました。

1 いじめの定義について(法には次のとおり定められています。)

いじめとは、児童生徒と一定の人間関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)で、その行為の対象になった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。

いじめ
とは?

一定の人間関係にある他の児童生徒が行う

心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネット上も含める)

行為を受けた児童生徒が心身の苦痛を感じている

それでは、次のケースはいじめにあたるでしょうか? 考えてみましょう!!

同じクラスの生徒と遊んでいるうちに、自分の嫌がる顔やポーズをさせられ、スマートフォンで撮影された。ただし、その行為は「一度きり」で、今は行われなくなっている。自分としては、その画像が友達の中の SNS を通じて拡散されるのではないかと考えると、とても苦痛だ。

友達の間で、たとえ一度きりで、今、行為が行われていなくても、行為を受けた生徒が心身の苦痛を感じていれば、学校はいじめとして認知し、解消に向けて対応します。

いじめの対応について

- ・学校は、学校いじめ対策組織で対応します。
- ・「けんか」や「ふざけ合い」であっても、目に見えないところで被害が発生している場合もあるため、背景にある事情を把握し、児童生徒の感じる被害性に着目して、いじめに該当するか否か判断します。
- ・いじめは、被害と加害の関係が入れ替わることもあることを踏まえて対応します。

いじめの解消について

- ・いじめが「解消している」状態とは、
 - ① いじめに係る行為が止んでいる状態が相当の期間継続していること。
 - ② 被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないこと。
- ・いじめの解消の判断は学校いじめ対策組織により、判断します。

2 「いじめ防止対策推進法」に定める学校の取組

本校のいじめ防止に向けた取組を紹介します。

北海道常呂高等学校
いじめ防止基本方針
(概要)
全文は学校 HP を
ご覧ください。

- 「学校いじめ防止基本方針」 基本理念
- 生徒たちが意欲を持って充実した高校生活を送れるよう、いじめ防止に向けた日常の指導体制を定め、未然防止と早期発見に努める。
 - 発生したいじめに対しては、積極的に認知して早期解決を図り、生徒が、望ましい人間関係を構築していく力を身に付け、安心して学習やその他の活動に取り組むことができるようにする。

北海道常呂高等学校
いじめ対策委員会
の役割や活動

- 【委員】 教頭・生徒指導グループ長・特別支援 Co・各担任・養護教諭・SC
- 【役割】 いじめに係る情報の報告を受けて、次の役割を担う。
- ①学校いじめ対策組織の会議を開催
 - ②情報の迅速な共有
 - ③事実関係の把握に基づくいじめの認知
 - ④いじめが解消に至るまでの対処プランの策定と確実な実行

北海道常呂高等学校
いじめ防止
プログラムの活動

- いじめに関するアンケート（6月・10月・1月）
- ネットトラブル防止教室（7月）
- 生徒理解支援ツール「ほっと・アセス」（8月）
- SOS の出し方教室（10月）
- 生命（いのち）の安全教育（11月）
- 学校いじめ対策組織会議（毎月）

不明な点やいじめに関する相談は、遠慮なく相談ください。

いじめに関する相談は、学級担任の他、相談しやすい教職員に遠慮せず相談してください。また、相談窓口として、「いじめ対策組織」を設置しています。気軽に相談願います。

北海道常呂高等学校のいじめ対策組織担当は、教頭 です。

連絡先 0152-54-2753（学校代表電話）

北海道教育委員会の相談窓口

相談窓口	電話番号	相談時間等
北海道子ども相談支援センター（電話）	0120-3882-56	毎日 24 時間
（メール）	sodan-center@hokkaido-c.ed.jp	
北海道立特別支援教育センター（電話）	011-612-5030	祝日・年末年始を除く 平日 9～12時 12～17時
（メール）	tokucensodan@hokkaido-c.ed.jp	
オホーツク教育局教育相談電話（電話）	0152-41-0758	

道教委ホームページで、道のいじめに関する条例やいじめ防止基本方針、いじめに関する調査結果などを確認できます。

北海道教育庁学校教育局
生徒指導・学校安全課
Web ページ



子ども相談支援
センターイメー
ジキャラクター